

様式第12号 (第10条関係)

まちづくりチャレンジ協働事業補助金実績報告書

2026年 2月/3 日

NPO法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 えこにわ
代表者名 勝又みさ都
住 所
電 話

2025年5月2日付特惠活第8号をもって交付決定のあった恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金に係る実績報告について、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第10条の規定により下記のとおり報告します。

記

- 協働事業の名称 : 'えにわブルーサンタごみ拾い'を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発
- 補助金交付決定額 100,000円
- 補助対象事業の決算額 85,606円
- 実施期間 2025年4月1日 から 2026年2月末日 まで
- 添付書類
 - まちづくりチャレンジ協働事業報告書 (様式第13号)
 - まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書 (様式第14号)
 - その他理事長が必要と認める書類



まちづくりチャレンジ協働事業報告書

協働事業の名称	'えにわブルーサンタごみ拾い'を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発		
団体名	えこにわ	実施場所	別紙参照
担当課	生活環境部ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課、脱炭素推進課		

<p>協働事業の実施状況 ※いつ、どこで、なにを、どうしたかを記入してください。</p>	<p>① えにわブルーサンタごみ拾い×背守り刺しゅうワークショップ 日時：4月27日(日) 9:30 - 11:30 会場：黄金ふれあいセンター ・脱炭素推進課「えにわゼロちゃれ!」のお知らせ</p> <p>② ごみでゲーム?工作!?夏休み親子ワークショップ 日時：8月4日 会場：はなふるセンターハウス ・海で拾ったプラスチックごみを利用したチャーム作り ・廃棄物管理課「ゲーム'カラダを動かして、ごみの分別を体験!」</p> <p>③ 図書館展示 日時：1月14~29日 会場：恵庭市立図書館本館 ・ゼロカーボンアクションや環境問題、協働事業についての展示</p> <p>④ ホームページ、メールマガジン、SNSによる啓発</p>
<p>協働事業の成果 ・事業内容の成果 ・協働で取り組んだことの効果等</p>	<p>団体の成果</p> <p>●ごみ拾い、ゲーム、ワークショップ、図書館展示という多様なアクションを組み合わせた開催で、楽しみながらゼロカーボンやごみ問題について学び、暮らしに取り入れる事の啓発につながった。 イベント参加者数：①②合計68名</p> <p>●協働で取り組んだことにより、信頼性と宣伝周知力が向上した。参加者の声から、市の廃棄物、脱炭素に対する取り組みへ関心と理解が深まったことを実感した。</p> <p>●協働での事業開催と、複数のメディア・SNS等による情報発信の相乗効果で、多世代の市民への意識啓発ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページユーザー数：2808 (2025年1~12月、2024年の9倍) ・Instagram フォロワー数：303 (2024年の約2倍) ・Facebook、X：アカウント開設 ・メールマガジン登録数：38 (2026年2月時点、2024年の約2倍)
	<p>担当課の成果</p> <p>廃棄物管理課： 夏休みワークショップについて、小学生向けにごみの分別、処理の流れについてのパワーポイントを作成。それを用いて説明し、その後にごみ分別ゲームを行いました。 参加した小学生はもちろん、その保護者からも、ごみの処分の流れや分別の大切さについて知ることができた、ゲームを通じてごみの分別を知ることができたなどの声があり、恵庭市のごみ分別について理解を深めていただけたと感じております。</p>

	<p>また、図書館展示をおこなうことで、市民の方にエコにわたさんの活動やゼロカーボンアクションについて知っていただく機会となったと思います。</p> <p>全体をとおして、参加者の方に適正分別・適正排出の重要性について伝えることができたと考えています。</p> <p>脱炭素推進課： ・ゴミ拾いイベントの参加者へ市民向け温室効果ガス排出量見える化・インセンティブ制度「えにわゼロちゃれ！」のPRができた ・協働事業でのパネル展示によって、市民と行政が一体となって環境・脱炭素について発信している事を、来場者へPRできた</p>
協働事業の実施時における役割分担	<p>団体の役割 ・事業の企画、周知、準備、運営 ・図書館展示の調整、題材提供</p> <p>担当課の役割 ・「えにわゼロちゃれ！」の周知（脱炭素推進課） ・「ごみ分別ゲーム」の実施（廃棄物管理課） ・図書館展示の調整、題材提供（脱炭素推進課・廃棄物管理課）</p>
次年度以降の見通しと課題	<p>団体として ・次年度も、ごみ拾いをゼロカーボンアクション啓発の軸として実施したい ・協働事業の継続につきましては、単発のワークショップなどで検討したい ・まちチャレ助成金以外の財源確保に努める</p> <p>担当課として</p> <p>廃棄物管理課： 夏休みワークショップでは海で拾ったプラスチックごみを利用したチャーム作りを取り入れることで子ども連れの方の参加が多く、昨年度よりも集客が多くなりました。 次年度以降も子どもが参加したくなるような取り組みを入れることで集客につなげていくことが必要だと感じました。 課題としては、団体側でも挙げていますが、まちチャレ助成金以外の財源確保について考える必要があると思います。</p> <p>脱炭素推進課： ・より多くの市民（数、世代など）に興味・関心を持っていただけるよう内容の充実をはかっていきたい</p> <p>共通して ホームページユーザー数、Instagram フォロワー数、メールマガジン登録数も着実に増えていることから、エコにわたさんの活動が少しずつ市民の方に広がっていることがわかります。今後もワークショップの開催など、多くの方が参加しやすいような取り組みを期待します。</p>

※ 周知用チラシや実施時に記録した写真等を添付してください。

※ 記載欄が不足する場合は別途資料を添付しても構いません。

＊自己評価

評価欄にあてはまる数字を記入してください。

- 4...できた (非常にあった)
- 3...概ねできた (あった)
- 2...あまりできなかった (あまりなかった)
- 1...ほとんどできなかった (ほとんどなかった)

項目	評価者	評価	1や2の場合、その理由
課題や目的を共有することができたか	団体	4	
	担当課	4	
目的は達成できたか	団体	4	
	担当課	4	
計画どおり進めることができたか (事業費、実施体制、自主自立性等)	団体	3	
	担当課	3 4	廃棄物管理課 脱炭素推進課
市民ニーズは反映されたか (不特定多数の利益、まちづくりへの寄与等)	団体	4	
	担当課	4 3	廃棄物管理課 脱炭素推進課
互いの役割分担はしっかりできたか	団体	4	
	担当課	4	
協働で事業実施をした効果があったか	団体	4	
	担当課	4	

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書

協働事業の名称：'えにわブルーサンタごみ拾いを通じたゼロカーボンアクションの普及啓発

1 収入

(単位：円)

項目	金額		説明 (積算等)
	予算	決算	
補助金	100,000	75,106	まちづくりチャレンジ協働事業補助金
参加費	9,000	10,500	4/27：300円×8名=2,400 8/4：300円×27名=8,100
合計	109,000	85,606	

2 支出

(単位：円)

項目	金額		説明 (積算等)
	予算	決算	
講師謝金	19,000	24,000	1 4/27 佐藤里奈 背守り刺しゅうワークショップ：9,000円 2 8/4 苫米地しおり 海洋プラ工作指導：10,000円 (領収書は⑨チラシデザイン料と合算) 3 8/4 北海道文教大学自然体験サークルつむぎ (工作グループ指導)：5000円 (領収書は⑩撮影・動画編集と合算)
通信費	13,568	13,568	4 ホームページのサーバー管理料 (年間13,200円) 5 ドメイン使用料 (年間1,602円) (13,200+1602) ÷12×月割11ヶ月分
通信費	18,000	18,000	6 メールマガジン配信システム： 年間契約料36,000円×1/2=18,000 (個人利用との按分)
印刷製本費	15,000	12,043	7 5/19 苫米地しおり チラシデザイン：3000円 8 7/2 ラクシル：ワークショップ(8/4)のチラシ・ポスター印刷 4043円 9 8/4 苫米地しおり チラシデザイン：5000円 (領収書は②工作指導と合算)
撮影・動画編集	12,000	9,000	10 4/27 柄多佑海 (文教大学写真部)：4000円 11 8/4 北海道文教大学自然体験サークルつむぎ：5000円 (領収書は③工作指導と合算)
材料費	14,432	4,007	12 7/6 Rakuten：3130円 13 7/30 イオン：547円 14 8/1 ダイソー：330円
借用・損料	5,000	3,000	15 6/10 ガーデンシティ恵庭 会場費
保険料	3,000	1,988	16 4/8 恵庭市社会福祉協議会：560円 17 7/16 恵庭市社会福祉協議会：1428円
託児料 (対象外)	4,000	0	文教大学学生に、同室見守り託児を依頼 →託児の実施なし
人件費 (対象外)	5,000	0	スタッフ経費 (4月、8月) →支払なし
合計	109,000	85,606	

※ 支出証拠書類等の写しを添付してください。

(別紙 協働事業の実施状況)

●2025年4月27日開催

「えにわブルーサンタごみ拾い × 背守り刺しゅうワークショップ」

開催場所：恵庭市黄金ふれあいセンター 参加者：21名

- 国道36号線沿いのごみ拾い
- 恵庭市脱炭素推進課による「えにわゼロちゃれ！」についてお知らせ
- しおり作りワークショップ

背守り刺しゅう作家の佐藤里奈さんを講師に招き、「八芒星（ハチボウセイ）」という図形を穴の空いた紙に刺繍針を通して縫い、オリジナルのしおりを作りました。



●2025年 8月 4日開催

「ごみでゲーム? 工作! ?夏休みワークショップ」

開催場所：はなふるセンターハウス1階 エニティールーム

参加者：47名

- ・ 恵庭市廃棄物管理課によるゴミの分別クイズ
- ・ 海のプラスチックごみをアップサイクルしたチャーム作りワークショップ

苫小牧の海岸で拾ったプラスチックごみを閉じ込めたレジンパーツと、着なくなったTシャツから作った紐を組み合わせて、世界に一つだけのチャームを作りました。



●2026年1月14～29日 「図書館展示」

場所：恵庭市立図書館本館

タイトル： 『えにわのゼロカーボンアクション ～知っていますか？
今、地球に起きていること～』

展示内容：

- ①石狩振興局よりゼロカーボン北海道パネル展（恵庭市脱炭素推進課）
- ②資料『なるほど！恵庭のごみ事情』（恵庭市廃棄物管理課）
- ③2025年度まちチャレ協働事業の写真報告（4/27ごみ拾い、8/4ワークショップ）
- ④海洋プラスチック学習会（11/30） 参加者の声（できることシート）

